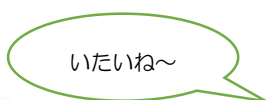


絵本選びのポイント 4歳児



日常会話が豊かになり、話し言葉が完成期を迎える4歳児



からだ

協応動作が確かなものに。

3歳児のときに得た「〇〇しながら〇〇をする」という協応動作が全身運動でも手指の操作でも自由にできるようになります。動作が確立してくると、達成感が生まれ、心の発達へとつながります。

ことば

話し言葉の完成期。想像力が豊かに。

自分の言葉で、自分なりに思いを伝えるようになります。また伝わらないもどかしさを感じるのもこの頃。想像力が育ち、目に見えない世界や架空の世界への憧れが生まれ始めます。

社会性

人とのつながりが豊かになり、心の中のありさまに関心が高まる。

大人のまねをして背伸びをしたり、友達と自分の違いがわかるようになったりと、他人の存在を認識することで人との関わりが豊かになります。そして、心の中のありさまに関心がたかまっていきます。



◇音を楽しむ言葉遊びが出てくる絵本を選びましょう

◇現実から離れた世界に出会える、ファンタジー絵本、昔話、冒険物語、ナンセンス絵本といったジャンルを。

現実から離れた物語の世界を楽しみながら、イメージの世界がどんどん膨らんでいくような絵本がおすすめです。

江南市立図書館スタッフが選んだ 4歳児のおすすめ絵本



Eカ『がんばれ!パトカー』
竹下文子/作 鈴木まもる/絵 偕成社
パトカーが、まちのパトロールに出かけました。そこに大事件が発生! 宝石強盗の車を追って、迫力のカーチェイス。がんばれ、パトカー! 細かく描かれたまちの様子や、たくさんの乗り物が魅力的な絵本。



Eコ『コアラアラアラやってきて』
おおなり修司/文 丸山誠司/絵 絵本館
コアラアラアラやってきた。木から落ちそうなおともコアラを受け止めて、コアラホラホラ大丈夫。そして、バクがバクバクやってきて…。さて次は、どんな動物がやってくるのでしょうか? リズミカルでとても愉快なユーモア絵本。



Eク『てぶくろ』 福音館書店
エウゲーニー・M・ラチョフ/え うちだりさこ/やく
雪の降り積もる森で、おじいさんがてぶくろを片方落としました。すると、ねずみ、かえる、うさぎたちが、てぶくろの中に次々とめぐりこみ…。



Eク『にんじんとごぼうとだいこん』
和歌山静子/絵 鈴木出版
にんじんとごぼうと大根は、ある日お風呂に入ることになりました。にんじんはじっくり入り、ごぼうはさっさと出て、大根は体をこしこし洗ったので…。野菜の色にまつわる民話を楽しく描く。



Eハ『パンダなりきりたいそう』
いりやまさとし/作 講談社
なりきりたいそうはじめるよ。りょうてをうえにあげて、ぐーんとのびて。チューリップ、バナナ、ひこうき、おにぎり…。さあ、つぎはなにかな? ページをめくると、パンダたちがだいじんしんします。



Eコ『よるのようちえん』
谷川俊太郎/ぶん 中辻悦子/え・しゃしん 福音館書店
夜の幼稚園にはだれもいません。みんなうちへ帰りました。どこからか、夢の子どもが現れて、夜の幼稚園で遊びはじめます。そとさん、すっとさん、ぬっとさん、ぱっとさん、ぼっとさん…。さてみんなで何人いるでしょう?



Eア『あそぼ』
エルヴェ・テュレ/さく ポプラ社
たにかわしゅんたろう/やく



Eイ『いろいろはっぱ』
小寺卓矢/写真・文 アリス館
佐藤孝夫/監修



Eオ『おすしのずかん』
大森裕子/作 藤原昌高/監修
白泉社



Eコ『ごはんごはん』
視覚デザイン研究所/さく
内山悠子/え 視覚デザイン研究所



Eシ『しーっすかに』
いちかわけいこ/作
つるたようこ/画 佼成出版社



Eソ『そらまめくんのベッド』
なかやみわ/さく・え 福音館書店

Eタ『だいたいおいかのいかたろう』
ザ・キャビンカンパニー/作・絵
鈴木出版

Eト『トマトさん』
田中清代/さく 福音館書店

Eチ『チーター大セール』
高畠那生/作 絵本館

Eモ『もったいないばあさん』
真珠まりこ/作・絵 講談社

Eヨ『よかったねネットくん』
レミー・シャーリップ/さく
やぎたよしこ/やく 偕成社

